

被殻出血の治療を受けた患者さんへ

地方独立行政法人大牟田市立病院では、受診時に患者さんから取得された診療情報等を使用して下記の研究を行っています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ先までご連絡ください。
また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本件研究の対象者に該当されると思われる方またはその代理人の方で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。なお、その申し出は研究成果公表前までとなりますのでご了承願います。

研究課題名	亜急性期での被殻出血に対する定位的血腫除去術の有効性
研究責任者	地方独立行政法人大牟田市立病院 脳神経外科 責任者名：大津 裕介
研究の目的と意義	テント上脳出血に対して定位的血腫除去術は機能予後の改善と死亡率を低下させ、開頭手術と比較すると低侵襲であることが特徴です。当院では急性期で開頭血腫除去術等の緊急治療を要しない被殻出血に対して、亜急性期に定位的血腫除去術を施行しています。今回、同治療法について保存的加療の治療成績との比較検討を行います。
調査データ 該当期間	2012 年 12 月から 2022 年 10 月までの情報を調査対象とします
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる方 受診科：地方独立行政法人大牟田市立病院脳神経外科 対象疾患：被殻出血と診断された方 ●研究の実施期間 病院長の研究実施許可日から 2023 年 12 月 31 日まで ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します 調査項目：・患者背景：性別、年齢、病歴、内服薬 ・治療薬 ・発症から血腫除去術までの時間 ・血腫除去率 ・検査データおよび画像データ ・入院前、退院時もしくは転院時の A D L ・有害事象
情報の保護	研究に関わる関係者は、対象となる患者さんの個人情報およびプライバシーの保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。 対象となる患者さんの個人情報は、個人情報が特定できないように加工を行い、その個人情報を復元できる情報（対応表）は、研究責任者が保管します。

外部への情報提供	外部への情報提供は行いません
試料・情報の提供の の辞退に関するお申 し出先・お問い合わせ 先	地方独立行政法人大牟田市立病院 臨床研究管理室 電話：0944-53-1061（平日 9 時～16 時）